

中国
正統

新五術占い応用秘伝

— 五術の秘訣とその活用 —

20年ぶりの再版です
**平成23年
10月再版**

河洛理数による命学応用の推命立卦の判断法
測局占法としての皇極経世による立卦判断法
九星八門の易卦による奇門遁甲立卦の判断法

A5判・並製本 張耀文・佐藤六龍 著
定価 五、二五〇円（税込）

推命・占卜・相学・漢方・仙道の五術の数々の秘法と活用法を説いた秘書で
日本初公開の珍しい占術もある「五術占い全書」の続篇

■本書は五術に関する秘伝的活用法が数多く説かれていた書です。即ち、四柱推命・紫薇斗数・河洛理数・干支・六壬・金面・玉掌・奇門遁甲・小遁甲と大遁甲・皇極経世・姓名・印相・漢方・周易 — についての究明がなされています。

■本書は五術（命・卜・相・医・山）に関する応用と活用法を述べた十四篇からなるものです。この中には日本なんびとで何人も知らなかった非常に珍しい測局の占術の公開なども含まれています。

■本書は五術についての書ですから、占術家にはもちろん必読の書です。さらに漢方医学・食餌療法を研究している人もぜひお読みください。また、漢学の周易を研究している人は、新しい周易研究の一環としておすすめします。

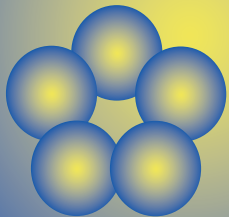
（はしがきより）

本書はかつての「五術占い全書」の続篇ともいえるべきものです。ただ本書は、前回の書が入門書であったのに対し、もう一歩進んだ内容の書といえるでしょう。
あらゆる五術の秘伝的な活用を説いたもので、中には日本で初めて発表される珍しい占術もあります。
ゆえに、本書をひもとくことにより、五術応用の堂奥に達することが誰にでもできると確信しております。（著者）

新五術占い応用秘伝

五術の秘訣とその活用

張耀文 著
佐藤六龍



香泉社

【新五術占い応用秘伝 内容】

〔初公開・皇極経世の測局占法 — 邵氏易学の測局立卦法〕
測局とは個人の吉凶判断ではなく、社会のあらゆる吉凶現象を判断する占術をいいます。皇極経世という学問によって時を立卦するのですが、日本はもとより中国でもこれを知る人は数少ないとされています。本書では具体的に「元・会・運・世・年・月・日」の立卦法を説き、その活用法が述べてあります。
※本リーフレットの末尾《案内》参照。

〔四柱推命判断のコツと要領 — 子平推命術実占の順序〕
四柱推命術における体神用神の取り方から具体的な命式の判断法とそのコツを説いたものです。

〔易卦の命学的活用 — 推命立卦法（河洛理数）〕
これは日本で初めて公開されるもので、河洛理数という中国の占術です。生年月日時を数字になおし、さらにそれを易卦に直して命理的な判断をする方法です。

〔万年曆にみる旧曆の差異 — 紫微斗数推命術の貴賤〕
日本と中国では数年に一度、ある月の太陰曆が一日だけ異なっていますが、それを紫微斗数推命術上から実例の貴賤をあげ究明したものです。

〔実占における干支の象意究明 — 干支の原始的な関係〕
東洋の全占術に活用する十干と十二支のその相互関係を整理し、そこにある象意をいかに実占上に活用するかという点を説いたものです。

〔六壬占法の種類と異説 — 六壬の原書〕
干支六壬占法は雑占の王者ですが、その十二天将の出し方に異説があります。その異説を紹介し、原書とその内容について説いたものです。

〔人相学の分析 — 東洋人相の流派とその優劣〕
日本に伝わる東洋人相の種類とその判断法を分析し、金面人相法の特徴やその優秀性をといたものです。

〔玉掌流手相の分析 — 東西手相術の比較と優劣〕
手相と言えれば使えないものにならない西洋流ばかりであった日本に、初めて玉掌流の手相のすばらしさを公開し、その特色と占術としての優秀さがどこにあるかを、具体的に西洋手相術と対比しながら説いてあります。

〔奇門遁甲立卦の判断法 — 星門易卦における移・動・変〕
九星八門によって立卦した易卦を奇門遁甲の方位上いかに応用するかを説いたもので、その易卦の移・動・変から判断する方法が述べてあります。

〔小遁甲と大通甲の作盤 — 曾子南の風水術に対する批判〕
奇門遁甲術はその使用目的によって盤の作成法がちがいます。それは小遁甲と大通甲といい、これの本格的な究明が説いてあります。

〔姓名と印章の数理活用秘訣 — 目的別の吉名と吉印の作成法〕
日本に由来あるような普遍的な吉名選定法とは異なり、その人の希望目的に合った姓名吉数理の選別方法をといたものです。印章も姓名と同じで、日本の印相のように一個だけで用が足りるものところが、目的別によって印面に配する字が異なる本格的な吉相印について述べてあります。

〔附子と石膏の熱寒療法 — 日本漢方家の盲点と誤謬〕
日本における漢方は病人の診断治療に熱寒のおさえ方がないため、附子と石膏の使い方が全然まちがっています。その証拠には熊十頭も殺せる量の附子を平気で使用する正統漢方に対して、日本では〇・三グラムの治療効果のない使用法しかしていません。こうした点を究明した正統漢方術のすばらしい活用方法を説いたものです。

〔特別附録・対談 — 易経について語る〕
日進月歩の文字学・金石学・甲骨文字学・考古学の中にあつて、いかに周易（易経）を正しく読み解くかを述べた易学者必読の書。日本の周易研究家の易経解釈とその不勉強さを指摘し、いかにそれらが八百年も昔のカビくさい使いものにならない周易であるか、という点を近代学問上から説いたものです。

* * * * *



入門書としておすすめ

『五術占い全書』

〔ご注意〕 本書はひじょうにやさしく書いてあります。先にご注意として、「五術」入門者は、先にご注意として「五術占い全書」をお読みになることをお勧めいたします。

《案内》本書で初公開の『皇極経世』・『河洛理数』の占術については、本書初版刊行後に、この二占術の立卦法・判断法をくわしく説いた『皇極経世新解』・『河洛理数推命術』の二書が弊社より刊行されています。

株式会社 香草社 ホームページ：<http://www.kososha.com>
〒150-0044 渋谷区田山町 28-8-605 電話：03-3464-4405 fax：03-3461-1091
オンライン書店：<http://kososha.shop-pro.jp> ブログ：<http://kososha.livedoor.biz>